

自宅で洗う。



「洗えるスーツ。」
How to Wash Manual

スーツを長くキレイに着ていただくために

STEP1



洗濯前の準備をしましょう。

STEP2



洗濯機で洗い、陰干しします。

STEP3



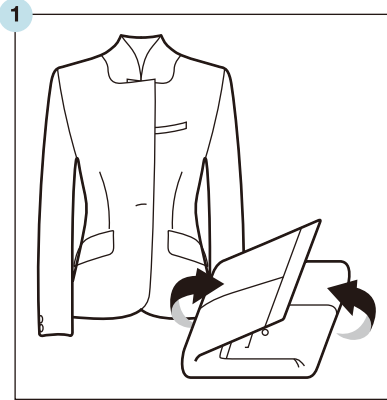
シワが気になる方は…。



STEP1 洗濯前の準備をしましょう。

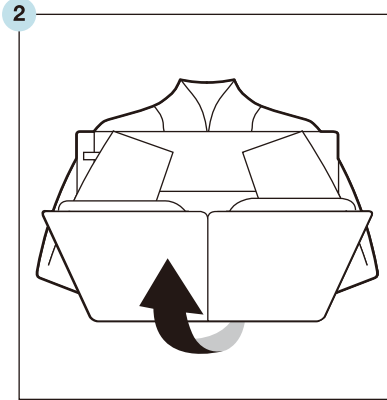
スーツの上下はなるべく一緒に洗濯してください。
洗濯ネットに入れるまでのジャケット、パンツの
たたみ方をご紹介します。

型くずれを防ぐために、スーツのサイズにフィットした
洗濯ネットをお選びください。



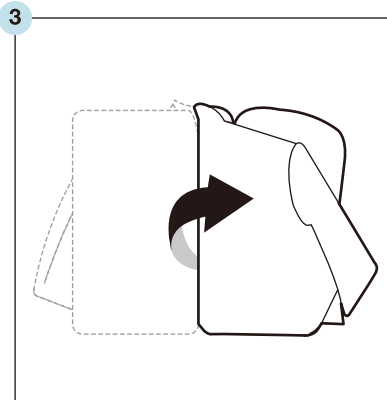
ジャケット・パンツをきれいに。

ジャケットは衿を立て、前釦は開けたままにします。
パンツはセンターラインでたたんだ後、3つ折りにします。



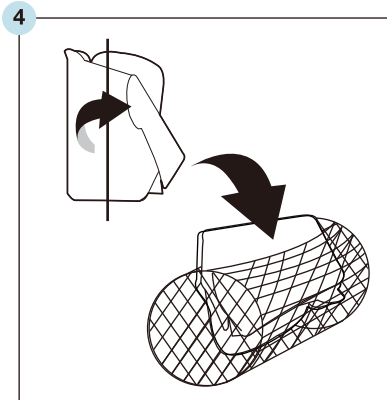
パンツを抱えこむようにセット。

3つ折りにしたパンツを袖で包みます。
そのままジャケットを2つ折りにします。



横半分に折ります。

パンツをセットして2つ折りにした後、
横半分に折ります。



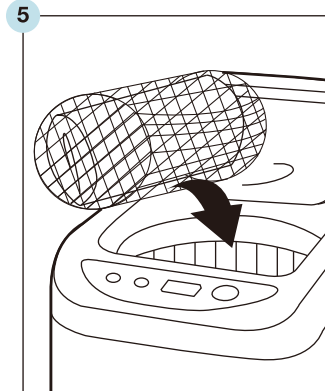
さらに半分に折って、洗濯ネットへ。

コンパクトになったスーツを
洗濯ネットに入れます。



STEP2 洗濯機で洗い、陰干しします。

ネットに入れた後、洗濯機で洗い、すぐに陰干しします。
ウール製品、または取扱の表示に
「中性」の指定があれば「中性洗剤」を使います。



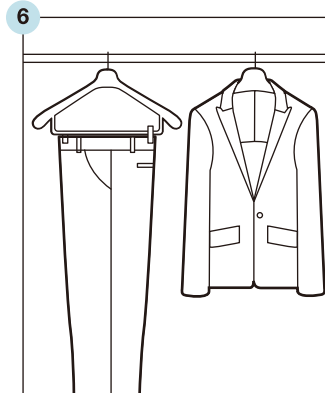
洗濯機で洗います。

◆ 洗濯機のコースを設定しましょう。

ウールに適した洗濯コースを選びます。
「手洗い」、「弱」、「ソフト」、「ウール」などに設定します。
二層式洗濯機や脱水機だけを使用する場合、
脱水時間は30秒以内にしてください。

◆ 洗濯しましょう。

(必ず洗剤の注意書をご確認ください)
30°C以下の水30lに対し、中性洗剤40mlが目安です。



陰干しします。

シワができないよう、洗い終わったらすぐに干します。
軽く振りさばいてから全体の形を整えましょう。
ウールは日光で黄変することがありますので、
必ず日陰に干します。
上着を干すときは、スーツ購入時にお渡しする専用の
ハンガーをご使用ください。ボトムは腰部を上にして、
手でたたいてシワを伸ばしてください。

!! ATTENTION

タンブル乾燥機のご使用や手しぼりは、シワや収縮の
原因になりますので避けてください。



衿・切りかえなどの縮んだ縫い目は
縫い目に沿って指先で軽く伸ばしておきます。
シワが気になるところは干す前に
手のひらや指先で伸ばしておく
スタイルをキープしやすく、きれいに仕上がります。





STEP3 シワが気になる方は…。

干し終えた製品のシワが気になる場合は軽くアイロンをかけます。シルエット・ラインを崩さないように、やさしく、ていねいに。ポイントをつかめば、手軽にきれいに仕上がります。

【アイロンをかける際の注意点】



1. ウールのテカリを防ぐために、必ずあて布をしてください。
2. アイロンの温度を確認してください。
ウールの適温は中温(140~160℃)です。
3. アイロンは、軽く、やさしくかけてください。
おしつけすぎると、アタリやテカリの原因になります。
特にフロント、ラベルなどの、芯地や、ポケットなどの布が重なっているとご注意ください。
4. ファスナー部分や釦などの付属部分には、アイロンをかけないでください。

【ジャケット】

フロント

裏地から表地の順に表面をなでるようにアイロンを軽くかけます。

背中

裏側からかけると裏地のアタリが出ずきれいに仕上がります。

肩まわり

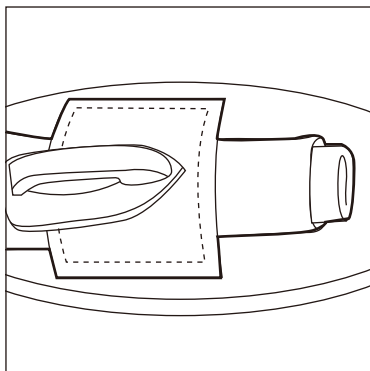
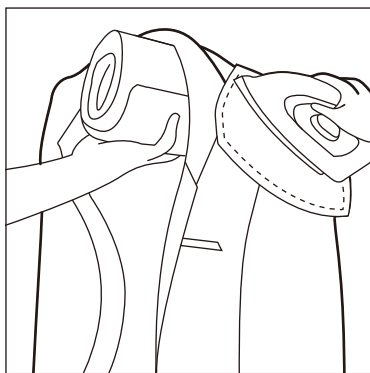
バスタオルを丸めたものを入れてアイロンを浮かせ気味にかけます。

ラベルまわり

裏側からかけ、衿の形を整えてから表側のラインを決めていきます。

袖

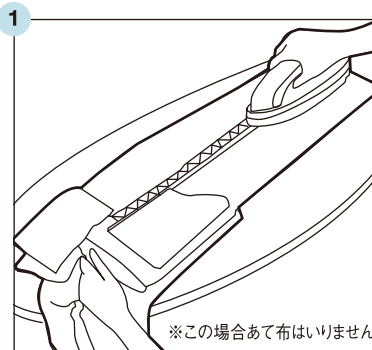
筒状にしたバスタオルを入れた状態で袖口・縫い目に沿って軽くかけます。



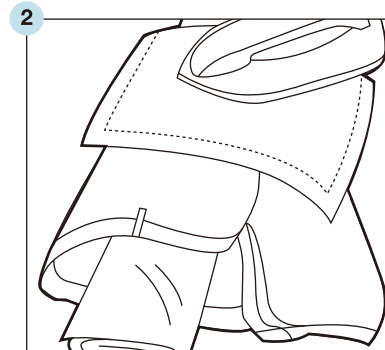
きれいにアイロンをかけるコツは、空いているほうの手で少し引っ張りながらかけることです。



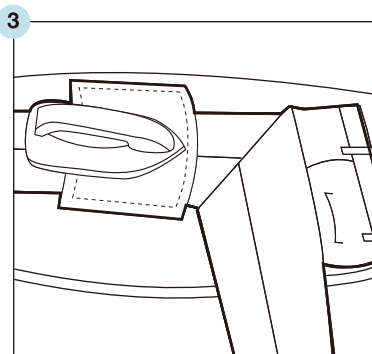
【パンツ】 !! あて布を忘れずに



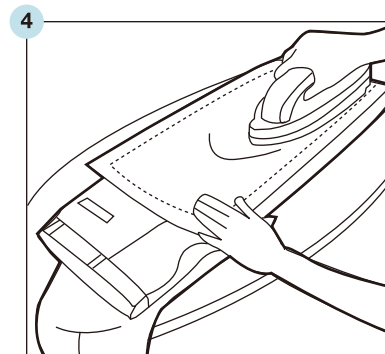
パンツは裏返して、脇の縫いしろを開いてかけます。腰まわりからポケットの裏へと進みます。



表に返して、腰まわりは丸めたバスタオルを腰の部分に入れ、軽くあてます。



パンツを開いて内股から1本ずつあてます。シワになっている部分に軽くかけていきます。折り目、縫い目を合わせセンターラインをかけます。



パンツの外側をあてます。布目に沿って、裾から上に向かってかけます。

【スカート】

アタリやテカリが出ないようにスカートは裏にアイロンをかけましょう。裏返して、脇の縫いしろ部分を開いて全体にかけていきます。ウエスト部分はバスタオルをたたんだものを入れてかけます。表は気になる部分だけあて布をして軽めにかけてみましょう。プリーツがある場合はあて布をして軽く押さえるようにしましょう。